

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	古文書史料編さん事業
事業主体 (連絡先)	松本人権推進古文書研究会 (事務局 0263-47-1444)
事業区分	(3) 教育文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	452,000 円 (うち支援金: 324,000 円)

事業内容

研究会会員が毎月1回松本地域の被差別部落に関する古文書を解析する学習会を開催し、封建社会において被差別部落の人達がどのような生活・仕事をしていたのか、いかに地域の役に立っていたのかを明らかにして、研修会を開催し、多くの人に知ってもらい、差別意識の払拭に努める。



【 A 】

【目標・ねらい】

- 目標年度 28年度
- ・会員の増加 対25年比 20%増
 - ・研修会参加者の増加 対25年比 20%増

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

松本地域の被差別部落に関する古文書を解析する学習会 12回開催 (参加者 125名)

2014年6月30日松本市学校人権教育研究協議会講演会を開催 (参加者 80名)

2015年2月26日山形村で研修会を開催し、村長はじめ全職員他60名が参加

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ① 山形村においてすばらしい研修会ができた。
- ② 史料集の史料を大分まとめることが出来た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

引き続き、古文書から封建社会における被差別部落の生活と仕事を学習し、歴史認識を深めると共に、史料集を発行し差別意識の解消を図っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある